

比較動物医学 【Comparative Medicine】

担当責任者 准教授（動物研究センター） 川田 耕司

ねらい 近年問題となっている重篤な感染症の多くは動物由来であり、種の壁を超えて人に流行をもたらしたことから、感染症を防ぎ、人や家畜、それらを取り巻く生態系の健康を守るためには、これまで独立した学問領域であった医学、獣医学、環境学が連携する必要性があると認識されるようになった。この総合的な概念は“One World, One Health”として提唱されている。本講義では、One Health アプローチにおいて重要となる人獣共通感染症に加え、人医学と獣医学のもう一つの重要な接点である動物実験について概説する。

学修目標

1. One Health の概念について理解し、説明できる。(Ⅱ-11)
2. 人獣共通感染症を理解し、その制御法について説明できる。(Ⅱ-5)
3. 動物実験倫理およびそれをめぐる社会情勢について理解し、説明できる。(Ⅴ-3)
4. 各種実験動物の特性について理解し、説明できる。(Ⅴ-3)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書、関連省庁のウェブサイト等で事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読し、講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

1. 筆記試験(60%)、小テスト(40%)の結果を基に出席状況等を加味し、総合的に判断する。
2. 1の合計点を100点に換算し60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

講義資料を配付する。

○ 参 考 書

バーノースハンドブック(岸本寿男 山田章雄著、メディカルサイエンス社 2009年)

実験動物学 第2版(久和 茂著、朝倉書店 2018年)

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	1・2	人の健康と動物・環境－One Health の概念 小テスト	PS SO	01 05	03 02	16 01	川田 耕司
10.10	金	1・2	人獣共通感染症－ウイルス性疾患 小テスト	PS	01	03	16	宮田 博規
10.17	金	1・2	人獣共通感染症－細菌性疾患その他 小テスト	PS	01	03	16	川田 耕司
10.24	金	1・2	動物実験倫理と社会環境 小テスト	RE	05	02	02	川田 耕司
11.7	金	1・2	各種実験動物の特性とモデル動物 小テスト	PS	01	01	11,13	川田 耕司
11.14	金	1・2	試験					川田 耕司